

第9回益子町図書館基本計画策定委員会 議事録

日時:令和4年3月17日(木) 10時~11時30分

場所:益子町中央公民館 研修室

出席者:委員 11名、アドバイザー2名、事務局 5名

欠席者:8名

次第

1 開会

2 あいさつ

3 内容

(1)パブリックコメントの結果について

(2)その他

4 その他

5 閉会

事務局／おはようございます。お忙しい中、ご参加ありがとうございます。パブリックコメントも終了し、いよいよ大詰めです。今回はパブリックコメントの状況を報告します。それでは、委員長より挨拶をお願いします。

委員長／おはようございます。1年ちょっと委員会を続けてようやくまとまり、今日はパブリックコメントが紹介されます。それを踏まえて、よりよい図書館建設に向け、具体的に進んでいきたい。パブリックコメントを念頭に置いてご検討ください。よろしくお願いします。

事務局／今日は教育長もご参加いただいています。挨拶をお願いします。

教育長／おはようございます。委員の皆様には1年ちょっと、図書館基本計画の策定にいろいろとご意見をいただき、視察にもご参加いただきました。皆様の知恵を結集した基本計画案を事務局がまとめ、形になりました。ありがとうございました。パブリックコメントも終了し、賛成、反対、いろいろな意見をいただきました。先日、町の議会でも話し合ったところ、図書館建設の基本姿勢には賛成されましたが、課題もあるので、今後の予定は焦らず、町民の皆さま、町当局、担当、議会それぞれの考えをじっくり話し合って完成に

持っていかれたらと思います。今回のパブリックコメントも重視し、委員の皆さまのご意見を
いただいて進めていきたいと思っています。また、アドバイザーにはこれまでアドバイスをいた
だき、ありがとうございます。本日もよろしくお願いします。

事務局／本日はアドバイザー2名ご参加いただいています。よろしくお願いします。ここから
は委員長に進行をお願いします。

委員長／さっそく内容に入ります。パブリックコメントの結果について、事務局から説明をお
願いします。

事務局／パブリックコメント(8人 30件)の読上げ ※省略

委員長／要望、意見、感想、反対に分けられるかと思っています。反対意見も出ていますが、皆
さまのご意見をお聞かせください。

委員／レジュメのタイトルが策定委員会となっているが、何か意図があるのか確認したい。次
に、パブリックコメントが30件。通常のパブリックコメントではこんなに意見が出ることは
ないので、町民の関心の高さを感じました。22番で、委員会の設置手続きに疑義が出
されています。要綱ではなく、条例に基づいて設置した方がいいというご意見の方がい
ます。この件は現在確認中ということです。パブリックコメントで反対意見が出るというこ
とは、委員会のメンバーにもそういう立場の人間がいた方がよかったのかもしれない。私
は議会代表だが、図書館建設には賛成の立場で議論してきました。議会で議論した意
見のまとめとして述べてこなかったことを反省しています。他の議員より、責任ある立場
であったことを指摘されました。議会では十分な議論を行う機会がなかったと。先ほど、
教育長から予定通りに進めるのではなく、議論するチャンスをいただけるという話もあり
ました。ぜひ、議会で十分に話し合う機会をいただきたい。それが、他の議員の要望でも
あります。パブリックコメントの内容も丁寧にチェックし、町民に伝えられる内容にしてい
きたいと思います。

委員／議会で承認がないとの話に驚きました。図書館建設は町長の公約なので、議会の
決定事項と理解していました。先日の議会だよりで図書館建設への意見を見て、疑問
に思いました。私たちは1年半委員として活動してきたのに、今さらという思いがありま
す。

委員長／ここではあくまで図書館基本計画策定について話し合い、議会は議会で話し合
いをお願いすることになります。

委員／私も同じく、なぜこの時期にという思いです。町民の方からもいろいろな意見を集め、

参加してもらっています。それがなぜ、ここにきてその話が出てくるのか不思議です。このような町の大きな仕事は、議会を通して始まっているのではないのでしょうか。そこがとても疑問です。議員の話によれば、議会を通らずに進められてきたということになります。申し訳ないけれど、選挙があるからそんな話が出てきたのではないかと感じてしまいます。今までそんな話はなかったのに、なぜここで出てくるのか。図書館建設よりも地域の排水が今の課題ではないかという意見が出ているそうです。この辺が、町の行政のやり方として、町民には不安しかありません。この場で言うべきことではないかもしれませんが、こういうことがあると、役場に対する不信感が生まれてしまいます。今回、いろいろ調べてくださっているようなので、その結果をしっかりと町民の皆さんに何回でも伝えていただきたい。1回や2回のお知らせでは届かないのだと思います。私たちは一生懸命益子町のために図書館をと考えてきました。これからの子どもたちのために、益子町に住む人たちのために、益子町が良くなるようにと考えてやってきたことを、もうちょっとしっかりアピールした方がいいのかと思います。もちろん、ホームページを作ったりと、アピールしていただいているのですが、コロナもあってそれが伝わりにくい状況です。それ以外にも、町の人たちに図書館がなぜ作られるのかを理解してもらう場をつくる必要があるかと思いました。図書館はこれからの町のために必要です。それをもうちょっと町の人にアピールできる方法を考えていただきたい。本当に、この時期になってこんな問題が出てくるのがショックだというのが正直な気持ちです。選挙活動では、お互いの粗探しを行います。でないと、票が入らないから。そこに町の施策が取り上げられるのは非常に残念です。それだけではないのかもしれませんが、この時期になって、となると、私にとってはそうしか考えられません。ちょっと寂しく感じています。とりあえず、町の人に図書館がどんなものなのかをアピールして、必要だと思ってもらえる方法をこれから考えていかないといけないと思いました。

委員長／22番のご意見ですね。私にも全然わからなかったです。委任されて委員会活動をやってきましたが、法的根拠がないと言われては、これまでの1年ちょっとの活動は何だったのかと、ものすごくショックです。これまで時間を費やし、町のために真剣に、真剣に考えてきた。それが全く無効だと考えられてしまうなら、ちょっとショックですね。この件は、事務局が調べているということですが、足元をすくわれた気分で、虚しい思いです。委員／反対意見では、財政不安や、子どもへの負担の心配が一番大きな理由です。図書館は子どもたちのために作るということが伝わっていないから、そういう意見が出てくる

のだと思います。子どもたちのため、未来のための投資で、図書館ができれば人も来てくれるとの夢を持って話し合ってきましたが、それがもっとうまく伝えられないかと思えます。選挙の話もありましたが、うちにも議員が戸別訪問に来ました。そのとき、図書館についても聞いてみましたが、とんちんかな答えしか返ってこなくて、図書館のことをきちんと考えてもらっていないと感じました。どうにかして、皆さんにも未来のための図書館であることが伝わらないかというのが願いです。17番のもっと少ない予算で機能を絞った図書館をつくったらどうなるかというご意見について。私は予算のことはよくわからないので、15億が最低基準だと町が判断するならそうなのだろうと思うだけですが、当初予算から費用が膨らむのもよくあることです。反対する人たちの思いも汲んで、もう少し予算を削ったときの想定もしてみる柔軟性があっていいのではないかと思います。

委員／同じく、議会だよりの質疑で今さら何をと驚きました。法的根拠の話が出ましたが、私は法的根拠があるからこの場に参加したのではなく、図書館をつくりたいという思いがあるから参加したのです。子どもの未来のためといいますが、72歳の私にとっても、図書館は未来です。全員の未来のための図書館だということを町民が再確認するのが大事なことで、それが今なのだと感じました。友人と話していても、図書館は必要だと。ただ、お金がかかるので、そこをどうするのか、わからない部分で不安を感じていることが多いようです。お金の話は、町を動かす立場の人でないとわからないこともあります。そこは議員などの専門家にお願いして、私たち町民が考えないといけないのは、図書館が必要なのか必要ではないのかです。自分にとって、子どもにとって、それから、その先の福祉にとって図書館は必要なのか必要ではないのか、真剣に考える時が来たのかと感じました。

委員長／まず町民の方の目につくのは、やはりお金ですね。今の益子に15億の図書館は必要ない、もっと他に使い道があるのではないかと。でも、お金だけに捉われると、図書館の意味するものを考えられなくなります。本なんて読んだことがないから、そんなものは必要ない。本を借りて読むだけなら、他の自治体に行けばいいんだといったご意見もあります。だけど、1年かけて議論してきたものは、未来にとって、子どもたちの未来にとって必要な図書館です。お金には代えられない、人生の豊かさに関わってくるものです。それをお金を理由に反対するのは、意味が違うと思います。図書館とはどんなものなのか、お金だけではない価値があること、益子町にとってどんな意義があるのか、それらをQ&Aのような形でわかりやすくまとめたらどうでしょう。文章だけでは読みません。それ

それぞれの意見に対して、こういう考えがある、こういう対応ができると。反対意見の中に、学校連携に関するものもあります。不十分だったからこそ、今後はこういう連携を考えているのだと、説明があれば納得できます。そういう風に Q&A でまとめられたら、町民にとっても理解しやすいのではないかと思います。わかりやすい形で示すのが大事だという気がします。

委員／私も同意見です。パブリックコメントの回答はホームページに載るんですよね。でも、よっぽどの人じゃないと、そこまで見ないと思います。こういう回答や、なぜ図書館をつくるのかとかそういうところから、もっとみんなに知ってもらえるように、目につくところにわかりやすく出していかないと。見てもらわないと知らないままで、反対のままになってしまいます。もっと前面に押し出したいなと思います。人の目につく形で、できれば紙媒体でどこでも見られるようにするといいんじゃないかと思います。

委員／基本計画策定委員会として活動してきましたが、その前提として基本構想検討委員会がありました。もし本当に設置根拠に問題があるというなら、もっと早く疑義が出されるべきでした。前回の委員会も今回も、議会の代表者が出席されています。個人ではなく、議会代表としてです。議会の中でもこの委員会が承認されていると考えて当然です。法的根拠に疑問があるなら、前年度または今年度はじめ、議員の代表に出席してほしいと要請されたとき、なぜ議会では何の疑問も感じなかったのか。申し訳ないけれど、議員の怠慢もあったのかと思います。私にとっては、法的根拠はどうでもいいんです。一町民として、益子町に図書館がほしいという思いで、この委員会に参加させていただいています。皆さんも同じ思いであるならば、この検討をしてきたことは決して無駄ではないし、次に活かすことができると考えています。パブリックコメントは8人で30件ということなので、一人でいくつかご意見を出してくださった方がいるのでしょう。おそらく反対のご意見なのかと思います。ここに賛成の意見が少ないから、町民に賛成している人が少ないのかということ、そうではないと思います。賛成の人は、静かに賛成しています。反対意見は大きく聞こえがちです。でも、賛成する人もたくさんいるのだと、私は知っています。もし、この基本計画が委員会として認めてもらえないというなら、町民の代表二十数名の意見として、それぞれの仲間や友人、団体など、たくさんの図書館を建ててほしいという思いを背負った者の集まりが作った意見として、自信をもって提出していただきたいと思います。茂木町のふみの森図書館をつくるときも、賛成する人ばかりではありませんでしたが、今はみんな喜んで使っています。道の駅も、反対意見がとてもあったけれど、今は

大成功で、利益もどんどん出ています。反対意見は、時として賛成意見を打ち消すほどの力を持っているかのように見せます。私たち個人としても、自信をもってこの話し合いを進めていくべきだと思います。

教育長／皆さんのご意見に胸が熱くなっています。委員として皆さんと一緒にグループ活動をしたとき、夢があって本当に楽しかったことを思い出しました。一生懸命考えていただいた皆さんに、この委員会がどうだったのかという思いをさせてしまい、本当に申し訳ないというのが今の正直な気持ちです。皆さんのあまりにも真剣な活動、それに今のご意見を伺ったものですから、感極まってしまいました。益子町の図書館は生まれたばかりの子どもから小学生、中学生、高校生、一般の方々、高齢者の方まで、すべての世代に必要なものです。委員として一緒に話し合いをさせていただいたときにも、当然できるものだと考えていました。今になって振出しに戻るようなことがささやかれているのが非常に問題だと、悲しい気持ちでいっぱいです。議会代表からも話がありましたが、この後、議会でも話し合い、パブリックコメントも参考に、多くの方の意見を活かしながら図書館をつくっていく方向性は変わらないと思います。微調整、このように修正すればもっといい図書館になるという点をパブリックコメントも考慮して進めていくと考えています。公約だということは度外視しても、町民の皆さんにとって必要な施設だと強く感じています。委員の皆さんが基本計画にかけたこれまでのご尽力や思いを実現していきたいと考えています。委員の皆さんにはあらためて感謝を申し上げます。これからは基本設計に入ります。そちらでもご意見をいただく場面があるかと思しますので、よろしく願います。

事務局／図書館建設については、町の最上位計画である第3期ましこ未来計画にはっきりと「図書館を建設する」と謳われています。議会で「図書館基本計画では、基本構想を具現化する」と述べさせていただいております。その上で、皆さまに意見をいただきながら、ここまで案をつくりあげてきました。情報発信が足りないのではというご指摘があり、町では工夫が必要かとあらためて考えましたが、これまで講演会やワークショップを何度もやってきました。また、広報ましこにも図書館のコーナーを設けて毎月情報発信をしてきましたし、図書だよりを作成して回覧や保護者宛ての配布を行っています。数々の情報発信を試みましたが、図書館に反対する方はおそらくそれを見ていないし、参加もしてくれないのが大きな課題です。それを克服するためにアイデアが必要です。皆様にご協力いただき、私たちだけでなく、一緒に情報発信していただくことも、今後必要かと思

います。懸念された策定委員会設置の法的根拠についてですが、策定委員会の設置に関しては、どこの自治体も益子町と同じく要綱による設置を行っているところがほとんどです。それらの自治体が違法と判断された事例は私たちは把握していません。ただ、異なる組織、まちづくり条例制定のための委員会の設置について、違法性があると判断された事例があることから、この委員会も該当するのではないかというご指摘を議員から受けています。

委員／町民と子どもたちの未来のために、図書館は絶対に必要ですし、この策定委員会の意見は最大限活かされるべきだと思っています。建設費や維持費について、必要などころにはお金をかけて、予算を確保していくべきと考えています。町民税には個人税と法人税がありますが、益子町は個人税が10億超であるのに対し、法人税が1億に満たない状況でした。大きな工場がなくなってしまったからです。来年度は、かねてより主張してきた産業団地整備による企業誘致のための予算が付き、9haほど造成する予定です。弁当屋が来てくれるという話も出ています。町の一番弱いところである法人税が改善されれば、それでカバーできるところもあると思います。芳賀町では法人税が30億あります。ペンタックスやリズムなど、益子町にあった大企業がなくなってしまった今、他の企業を誘致して、人口が減っても維持していける財政力が必要だと思います。なんでも国の交付税に頼るのではなく、自主財源を確保する努力をするよう、議会で働きかけていきたいと思っています。その上で、これからの益子町民や子どもが育って行って、益子町を支えてくれる存在になるのが一番いいことなので、そのためにも図書館をつくってほしい。ただ、議会での議論が物足りないということなので、その時間だけいただきたい。よろしく願います。

委員長／いろいろご意見が出ました。アドバイザーからもご意見よろしいでしょうか。

アドバイザー／今日は新幹線が動かず、現地参加ができなくなって残念です。益子に伺える今年度最後のチャンスだったのですが。オンラインではありますが、最善を尽くしたいと思います。先に業務パートナーの紹介をさせてください。建築士で、他の自治体と一緒に仕事をした経験があります。近隣では、真岡市の新図書館に共に関わっています。よろしく願います。ここまでに出た論点について、アドバイザーとして感じたところをお話しします。まず、こういうご意見があること自体は尊重すべきですが、町民として意識しないといけない点があります。真岡市や茂木町の図書館を使えばいいというご意見ですが、これは町民が声を大にして言うてはいけないことだと思います。それぞれの図

書館は、その自治体の税金で設置されています。そこを益子町民が使えるのは、それぞれの自治体のご厚意に過ぎません。必要なものはその自治体のお金で用意するのが地方自治の大原則です。小学校や中学校は町のお金で用意します。近隣の町にあるからそこに通えとは、心で思うまではともかく、言っていないことではありません。他の自治体では利用を明確にお断りしているところもあります。利用したいならその自治体の住民になればいいとするのは、自治体の政策としては当たり前のことです。真岡市はまだともかく、茂木町を使えばいいというのは問題がある気がします。茂木町にすれば、それなら引っ越してきてほしいと考えるのが必然だと思います。この点はなかなか理解しがたいかもしれないませんが、冷静に、自分の町が使われる立場と逆に置換えて考えれば、納得できると思います。自治体同士の信義の問題なので、そこは大事にした方がいいと思います。次に、大局的な視野に立って考える必要があると思います。図書館があることは、町の魅力の一つです。子どもたちや若い世代が期待したり、現役世代やシニア世代がこれからの人生を充実させるために意味があるんだという指摘がありました。局所的に考えるのではなく、長い人生の上で、図書館をつくることにどういう意義があるのかをしっかりと捉えた方がいいと考えます。関連してもう1点、費用は確かにかかります。ですが、建築費用と運営費用は明確に区別して考えた方がいいです。建築費用は1回限りです。1度建てると50年使えます。15億÷50と考えると、年あたりの負担額はかなり安くなります。大きな自治体では50億かけてつくることもあります。それでも年1億です。人口で割れば無理のない金額になります。そのように、お金については冷静に考えた方がいいです。何十年も先まで使えるお金だということを見るべきです。15億もかかるならもう少し安く、と単純に考える方向にはいかない方がいいと思います。本当に必要なら、かけた方がいいはず。多少削減することに意味があるのか。それで失うものの方が多いのではないかという視点も必要です。図書館の予算だけを見て高低を論じることには意味がないように思います。もしどうしても論じるのであれば、町の予算全体を見て、メッセにはいくらかかっているのか、学校教育には、老人介護にはいくらかかっているのか、そういう費用と比較した上で、町の未来にとってこの金額は必要なのかどうかを議論した方がいいのではないかと思います。最後に2点ほど、専門的な部分で言及させてください。事務局からも話がありましたが、私が知る限り、要綱により設置された委員会に違法性はありません。どこの自治体でもやっていることです。私が仕事をした他の自治体と比較しても、益子町はかなり開かれており、住民の意見をとてもよく聞いてい

ます。数回だけ委員会を開き、手早く済ませてしまう自治体もたくさんあります。よくここまで住民の意見を聞く機会を作るものだと感心するほどです。気が長いといえる次元です。そこは益子らしさだと自信をもっていただいてよいと思います。もう1点、情報発信が足りないというご指摘は拝聴するべきですが、どれだけやっても届かないものは届かないのです。益子町はかなり情報発信をしていると思います。だからといって、十分だということはありません。今後もしっかりやっていく姿勢でいいのですが、人は気に入らない事柄については「聞いていない」という否定の仕方を取りがちです。情報発信が足りていないという批判になりやすいのです。そこにこだわりすぎるのは、あまり生産的ではありません。徐々に広がりを見せているところです。もちろん、委員会としてさらに努力していくことではありますが、情報発信不足だと真っ向から反省するほどではありません。皆さん十分に努力されています。姿勢としての話になりますが、参加されている方のお気持ちや立場もありますので、少しフォローさせていただきました。

委員長／他にご意見がなければ、その他について事務局からお願いします。

事務局／ご意見ありがとうございました。最初にご指摘を受けたレジュメのタイトルについてはタイプミスです。申し訳ありません。今回が最後の策定委員会になります。今後は役場内の会議を4月に行い、そこで正式に決定となります。パブリックコメントと町の意見は、少なくとも4月にはホームページにアップする予定です。基本計画の策定後は、基本構想と同様に報告会を実施したいと思います。併せて講演会を行う予定なので、講師のご都合と調整して、5月か6月にと考えています。その折りにはご意見のあった Q&A のようなわかりやすい資料をつくり、周知を図りたいと思いますので、よろしく願います。来年度は基本設計に入ります。基本計画の報告会が終わったところから基本設計を策定する予定で組んでいます。よろしく願います。話は変わりますが、移動図書館の車両がまもなく納品されます。6月には町内の保育園、幼稚園、小中学校の巡回からスタートし、将来的には公民館や高齢者施設も巡回したいと考えています。その愛称を現在募集しています。資料をお配りしますので、ぜひご応募ください。移動図書館のお披露目会は 4/23(土)に予定しています。車両のデザインはいわむらかずおさんをお願いしました。お披露目会ではいわむらかずおさんによるおはなし会も計画しています。貴重な機会なので、ぜひご来場ください。その他にも子ども向けのイベントを企画する予定ですので、お子様連れでご参加いただければと思います。もう1点、図書館だよりをお配りしています。図書室のシステムが3月からかわりました。2週間の休館でご迷惑をおかけし

ましたが、新システムになってホームページから本の検索や予約が行えるようになりました。ぜひご活用いただければと思います。以上です。

委員長／1年ちょっと皆さまにはご意見をいただき、基本計画案ができました。パブリックコメントも取って、これから議会の承認を取り、基本設計に進んでいきます。ご協力ありがとうございました。

事務局／進行ありがとうございました。次年度は議会の予算承認が得られまして、基本設計に進みます。その際も、皆さまのご意見をちょうだいするためにワークショップ等を計画しておりますので、ご参加よろしくお願ひします。今回は最後の委員会なので、アドバイザーとして参加していただいたお二人に一言いただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

アドバイザー／本当に現地に行けないのが残念です。今日も会場にお集まりの皆さまからはどこにも負けない気持ちの強さや思い入れが感じられました。今後はより具体的な形で進んでいきます。今日もですが、今後も賛否両論いろいろ出てくると思ひます。何の対立もなく話が進んでいくより、本当にこれでいいのか、こうしたらもっとよくなるのではないかと議論があることがとてもすばらしいと思ひます。同席したパートナーもこんなに意見が出るのかと驚いていました。賛成であれ反対であれ、関心があることは間違いありません。無関心ゆえの波風のなさよりはるかにすばらしいことです。いろんなご意見はありますが、そこに一喜一憂せず、いろんな形で皆さんが関心を持ってきているのだと捉えて前に進んでいけたらと思ひます。次年度以降もご縁がいただけたらと思ひます。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

アドバイザー／私は名ばかりアドバイザーでしたが、同席させていただいて、ここまで図書館のことに熱く意見を交わして下さることに、図書館職員としてとてもうれしい気持ちがあります。県の職員は仕事の性質上、市町村の職員に比べ住民の皆さんとの距離があります。県立図書館は県の他部署と比較すると住民と接点がある数少ない部署で、他部署と連携した展示を行う機会などにそれを感じますが、図書館に引きこもっているだけでは感じられない皆さんの熱を感じられたのがとてもうれしかったのが一つです。パブリックコメントでは反対意見も出ましたが、本当に反対で、かつ町のことを考えている人なら、もっと自分でちゃんと調べて、皆さんにも確認を取ってくるのではないのでしょうか。人からこう聞いたからといった短絡的な判断は下さないと思ひます。県立図書館では県内の各自治体に関する資料も揃えていますので、思うところがあつて調べに来たのだろうという方のご対応をすることもあります。ご高齢の方ではあります、同年代の他の方

と比べてはっきりと意見を示される印象です。町のことを熱く考えている方なら、きっと話し合いができることだろうと思います。また、不安がある方にとっては委員の皆さまや事務局とのコミュニケーションが大切になってくると思います。人と人とのやり取りが、不安の解消には一番なのかと考えます。

事務局／皆さまの心強い言葉をいただき、私たちが今後仕事を進める上でとても励みになりました。長い間、本当にお世話になりました。ここにあらためて感謝を申し上げます。これで第9回策定委員会を閉会いたします。